

海津市男女共同参画プラン推進に伴う
具体的施策実施報告書
(平成28年度実施状況)

海津市市民環境部市民活動推進課

平成28年度 海津市男女共同参画プラン推進に伴う具体的施策実施報告書について

この報告書は、「海津市男女共同参画推進条例」(平成20年4月施行)第18条に基づく年次報告であり、各課が平成28年度中に取り組んだ施策の推進状況を報告するものです。これらの施策は「第2次海津市男女共同参画プラン」(平成23年12月策定)に基づいて実施しています。

この報告書を編集するにあたっては、推進状況をわかりやすく実態に即して報告するため、「第2次海津市男女共同参画プラン」のプラン体系により施策の方向性ごとにまとめて記載しています。

施策に対する推進状況(担当課自己評価)

評価A	かなり進んでいる
評価B	ある程度進んでいる
評価C	あまり進んでいない
評価D	全く進んでいない

平成30年3月27日

海津市長 松 永 清 彦

プランの体系

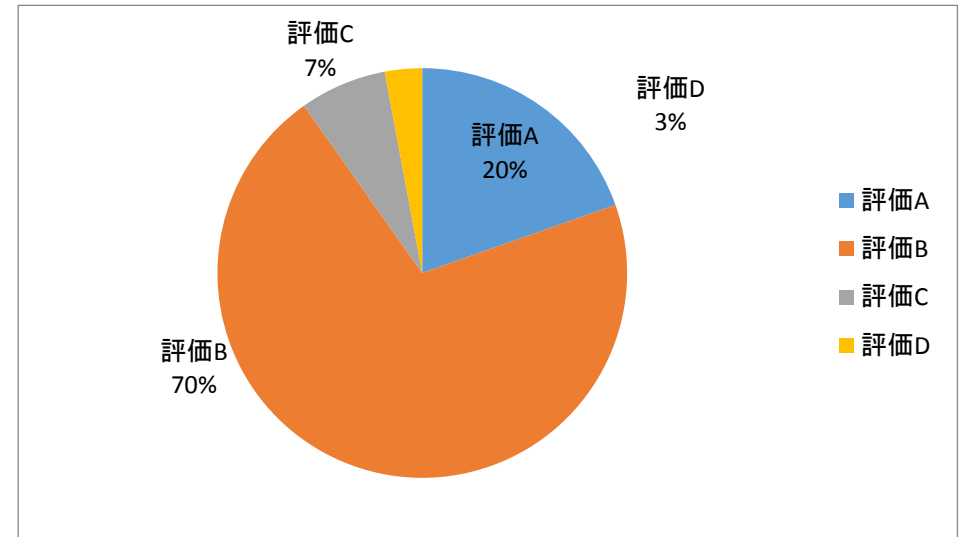
基本目標		方 針		施 策 の 方 向		No.	具 体 的 施 策
I	男女がともに参画できる社会への意識づくり	(1)	男女共同参画社会の形成のための啓発活動の充実	①	人権意識を高める啓発活動の充実	1	人権に関する講演会等の開催
						2	人権に関するパンフレット等の作成
						3	人権相談窓口の開設
						4	人権に関する標語・ポスターの募集及び啓発
				②	男女共同参画意識を高める啓発活動の充実	5	広報紙、ホームページ等による啓発
						6	男女共同参画に関するフォーラム等のイベント開催
						7	男女共同参画に関する出前講座の実施
						8	男女共同参画週間・月間での積極的周知
						9	広報物のガイドラインに沿った広報・刊行物の発行
						10	性と生殖に関する健康・権利の視点の啓発
		(2)	多様な選択を可能にするための教育・学習の充実	①	男女平等を推進する教育の充実	11	男女平等を推進する教育の実施
						12	教職員に対する研修等の開催
						13	保護者に対する男女共同参画の働きかけ
						14	公立中学校における職場体験の実施
				②	男女共同参画に関する学習機会の充実	15	男女共同参画に関するセミナーの開催
						16	子育て支援事業に父親が参加できる機会の設定
						17	各種講座・セミナーの開催及び男女共同参画の視点による運営
						18	図書館における男女共同参画に関するコーナーの設置及び関連書籍の貸し出し
		(3)	女性等に対するあらゆる暴力の根絶	①	あらゆる暴力を予防するための啓発活動の充実	19	女性等に対する暴力防止の意識啓発・予防啓発
						20	性犯罪防止の取り組み
						21	若年層の暴力を根絶するための取り組みの推進
						22	児童虐待・DV防止に関する広報・啓発
				②	被害者の救済体制の強化	23	配偶者等からの暴力に関する相談窓口の設置
						24	被害者女性等の保護・救済支援の実施
						25	DV防止計画策定の検討
						26	要保護児童対策の連携体制の整備

基本目標		方 針		施 策 の 方 向		No.	具 体 的 施 策
Ⅱ	男女がともに働きやすい環境づくり	(1)	雇用の分野における男女平等の推進	①	男女の均等な雇用機会の確保と推進	27	事業主に対する法制度に関する情報提供
						28	働く男女への法制度に関する情報提供
						29	雇用・労働に関する相談機会の提供
				②	女性の職業能力発揮のための支援	30	就業支援機関の情報提供
						31	女性の起業支援のための情報提供
						32	女性の再就職の支援など雇用環境の整備に関する啓発
		(2)	仕事と生活の調和への支援	①	育児との両立支援策の充実	33	育児休業制度の啓発
						34	男性への育児休業取得への働きかけ
						35	次世代育成支援行動計画の数値目標のある保育サービスなどの着実な遂行
						36	障がい児等の放課後対策の実施
				②	介護との両立支援策の充実	37	海津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の介護給付サービスの着実な実施
						38	介護休業制度の啓発
				③	ライフスタイルに応じた多様な働き方の支援	39	多様な働き方に関する事業主への情報提供
						40	一般事業主行動計画の啓発
						41	労働条件改善のための啓発
				④	ひとり親家庭への支援の充実	42	ひとり親家庭の相談窓口の設置
						43	ひとり親家庭への就労支援の実施
						44	ひとり親家庭への経済支援
		(3)	農林漁業、商工自営業における労働環境の整備	①	家族就労者の労働環境の改善	45	女性の認定農業者登録への働きかけ
						46	女性の農業者年金への加入指導
						47	家内労働に従事する女性への情報提供
Ⅲ	男女がともに担う地域社会づくり	(1)	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大	①	審議会、委員会等への女性の参画推進	48	審議会、委員会等への女性の積極的な登用
						49	女性団体への情報提供
						50	女性人材リストの作成と活用
		(2)	地域等における男女共同参画の促進	①	地域活動等への参画促進	51	地域活動等への参加の啓発
						52	市民リーダーの育成
						53	家庭生活における男女共同参画の啓発
						54	地域活動での男女共同参画の意識啓発
				②	団体・グループ間の交流促進	55	市民団体のネットワークづくりの支援
						56	ボランティア活動やNPO活動に関する情報提供

基本目標		方 針		施 策 の 方 向		No.	具 体 的 施 策
IV	福祉の充実と生涯を通じた健康づくり	(1)	安心して生活できる支援の充実	①	高齢者や障がい者等の自立支援	57	海津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の生活支援サービス及び社会参加と支えあいの体制づくりの着実な推進
						58	海津市障がい者計画・海津市障害者福祉計画の介護給付サービスの着実な推進
						59	国際感覚を高める啓発
						60	国際理解と国際交流の推進
		(2)	生涯を通じた健康づくりへの支援	①	男女の健康づくりへの支援	61	健康づくりに関する情報提供
						62	健康づくり教育の実施
						63	健康展の開催
						64	喫煙・飲酒に関する正確な情報提供
						65	健康相談の実施
						66	出前講座の実施
						67	思春期における性と健康づくりに関する学習機会の提供
						68	性と生殖に関する健康・権利の視点の啓発
						69	性感染症予防の啓発
						70	女性・男性に特有の病気・けが予防の啓発
						71	こころの健康の啓発
						72	こころの相談の実施
				②	母性の保護と母子保健の充実	73	乳幼児健診の実施と妊婦健康診査の一部助成
						74	母子保健の健康教室の開催
						75	母子保健の健康相談の実施
						76	母体保護に関する啓発
V	プラン推進のための体制づくり	(1)	施策推進体制の整備	①	プランの進行管理体制の確立	77	審議会の定期開催
						78	プランの年次報告の作成
						79	プランの見直し・改訂
				②	市職場における男女共同参画の推進	80	市職員に対する研修の実施
						81	市職員への情報提供
						82	男女平等の職場づくり
						83	市男性職員の育児休業等の取得推進
						84	女性職員の管理職等への登用の推進
						85	特定事業主行動計画の推進
		(2)	市民・市(行政)・事業所の連携	①	プランに基づく行動の促進	86	情報の収集・発信
						87	市民団体やボランティアと連携した事業の実施

担当課別

No.	課 名	施策数	推 進 状 況			
			評価A	評価B	評価C	評価D
1	秘書広報課	3		3		
2	市民活動推進課	35	8	19	6	2
3	農林振興課	1		1		
4	農業委員会	1		1		
5	商工観光課	13	2	11		
6	保険医療課	1		1		
7	社会福祉課	14	4	10		
8	高齢介護課	2		2		
9	健康課	15	6	9	0	
10	学校教育課	8		8		
11	社会教育課	4		4	0	
12	こども課	4		3	1	1
13	図書館(海津)	1				
合 計		102	20	72	7	3

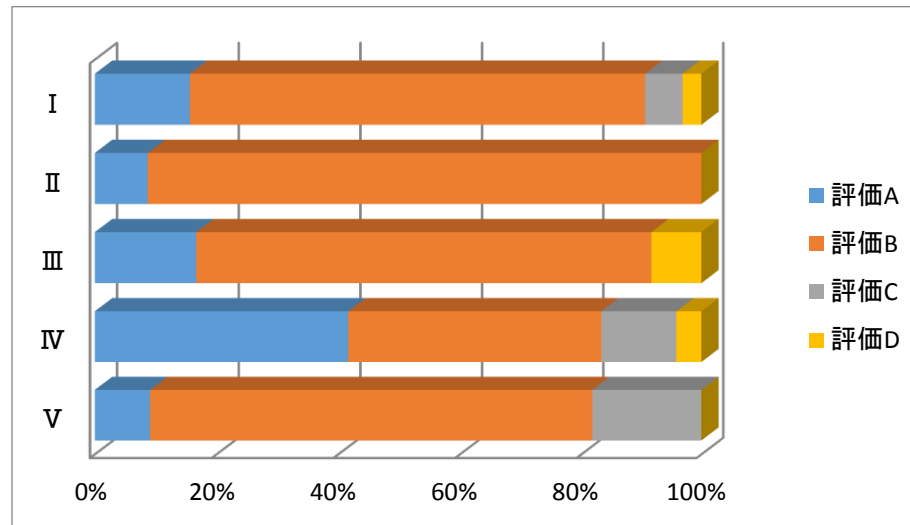


施策に対する推進状況

推進状況 (自己評価)	評価A	かなり進んでいる
	評価B	ある程度進んでいる
	評価C	あまり進んでいない
	評価D	全く進んでいない

プランの基本目標別

基本目標		推進状況				施策数
		評価A	評価B	評価C	評価D	
I	男女がともに参画できる社会への意識づくり	5	24	2	1	32
II	男女がともに働きやすい環境づくり	2	21	0	0	23
III	男女がともに担う地域社会づくり	2	9	0	1	12
IV	福祉の充実と生涯を通じた健康づくり	10	10	3	1	24
V	プラン推進のための体制づくり	1	8	2	0	11
合 計		20	72	7	3	102

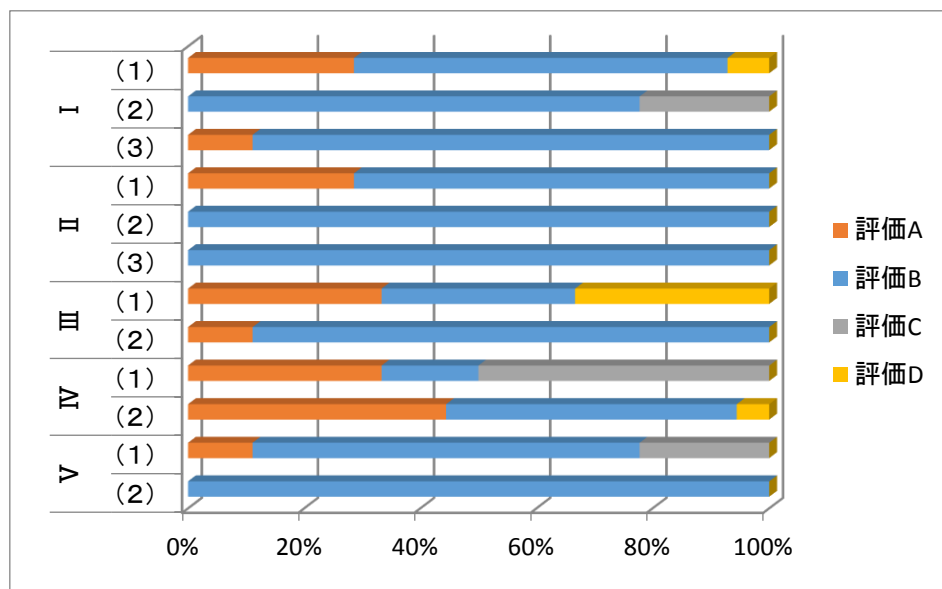


施策に対する推進状況

推進状況 (自己評価)	評価A	かなり進んでいる
	評価B	ある程度進んでいる
	評価C	あまり進んでいない
	評価D	全く進んでいない

方針別

基本目標	方 針		推進状況				施策数
			評価A	評価B	評価C	評価D	
Ⅰ	(1)	男女共同参画社会の形成のための啓発活動の充実	4	9	0	1	14
	(2)	多様な選択を可能にするための教育・学習の充実	0	7	2	0	9
	(3)	女性等に対するあらゆる暴力の根絶	1	8	0	0	9
Ⅱ	(1)	雇用の分野における男女平等の推進	2	5	0	0	7
	(2)	仕事と生活の調和への支援	0	13	0	0	13
	(3)	農林漁業、商工自営業における労働環境の整備	0	3	0	0	3
Ⅲ	(1)	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大	1	1	0	1	3
	(2)	地域等における男女共同参画の促進	1	8	0	0	9
Ⅳ	(1)	安心して生活できる支援の充実	2	1	3	0	6
	(2)	生涯を通じた健康づくりへの支援	8	9	0	1	18
Ⅴ	(1)	施策推進体制の整備	1	6	2	0	9
	(2)	市民・市(行政)・事業所の連携	0	2	0	0	2
合 計			20	72	7	3	102



施策に対する推進状況

推進状況 (自己評価)	評価A	かなり進んでいる
	評価B	ある程度進んでいる
	評価C	あまり進んでいない
	評価D	全く進んでいない

I 男女がともに参画できる社会への意識づくり

I-(1)男女共同参画社会の形成のための啓発活動の充実

I-(1)①人権意識を高める啓発活動の充実

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
1	人権に関する講演会等の開催 ・人権に関する意識啓発のための講演会等を開催します。 単位:千円 H28決算 408	人権啓発事業 市民活動推進課	A	●人権啓発推進大会 開催日:平成29年2月5日(日) 開催場所:海津市文化センター 講師:佐久間 レイ氏 ●街頭啓発活動 海津市産業感謝祭会場内	人権尊重思想の普及・高揚が図れた。今後も、正しい認識と関心を高めるため、効果的な啓発を行う。	A	継続
	人権に関する講演会等の開催 ・人権に関する意識啓発のための講演会等を開催します。 単位:千円 H28決算 322	人権・同和問題啓発事業 市民活動推進課	A	●人権・同和問題講演会 開催日:平成28年7月24日(日) 開催場所:海津市文化センター 講師:角岡 伸彦氏	人権・同和問題講演会を開催し、市民の意識啓発に努めた。参加人数の確保が大きな課題であるため、今後も広報活動を続けたい。	A	継続
	人権に関する講演会等の開催 ・人権に関する意識啓発のための講演会及び研修会等を開催します。 ・人権に関する学習の実施。 単位:千円 H28決算 803	人権教育教員研究会事業 学校教育課	B	教職員自身の男女共同参画意識の高揚など、人権感覚を磨く研修をした。「人権同和教育研修会」「小中学校教員施設体験研修会」各学校から提出された人権に関わる研修実施報告書に基づき指導・助言を行った。	市内全教職員を対象とした講演会、障がい者福祉施設における1日体験研修により、弱い立場に置かれた人々への接し方等について認識を深めることができた。また各学校に向けて人権の意識の高揚や、現状理解を図ることができた。	B	継続
2	人権に関するパンフレット等の作成 ・人権に関するパンフレットを作成し、情報提供や意識啓発を行います。 単位:千円 H28決算 295	人権・同和問題啓発事業 市民活動推進課	A	リーフレットを作成し、各戸に配布した。	人権に関するリーフレットを作成し、各戸に配布することにより、市民の意識啓発に努めた。今後も広報活動を続けたい。	A	継続
3	人権相談窓口の開設 ・人権相談窓口を月3回実施します。 単位:千円 H28決算 3	人権啓発事業 市民活動推進課	B	市民を対象に人権相談窓口を開設 ・開催場所 ひまわり 開催日 毎月第2火曜日 ・開催場所 文化会館 開催日 毎月第3水曜日 ・開催場所 やすらぎ会館 開催日 毎月第4木曜日 ・特設人権相談を開設 年2回(6・12月)	市報・ホームページ等を有効利用し人権擁護委員制度の周知と人権相談についてPR活動を行うことができた。	B	継続

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
4	人権に関する標語・ポスターの募集及び啓発 ・人権・同和問題啓発のため、市内小学6年生を対象に標語を、中学1年生を対象にポスターを募集し、優秀作品をクリアファイルにして配布します。	人権・同和問題啓発事業	B	人権問題に関する作文・絵画・標語を市内小・中学校の児童生徒に募集し、入選作品を掲載したクリアファイルを作成。各小中学校に配布した。	クリアファイルを作成し、小・中学校に配布することにより小・中学生の意識啓発に努めることができた。	B	継続
	単位:千円 H28決算 195	市民活動推進課					
	人権に関する標語・ポスターの募集及び啓発 ・人権・同和問題啓発のため、市内小学6年生を対象に標語を、中学1年生を対象にポスターを募集し、優秀作品をクリアファイルにして配布します。	人権・同和問題啓発事業	C	人権・同和問題啓発のため、市内小学6年生を対象に標語を、中学1年生を対象にポスターを募集を行った。また、優秀な作品をクリアファイルに印刷。市内中学生と市内小学6年生、教職員に1,710部、社会教育課関連会議、家庭教育講演会等で啓発物品(クリアファイル)を配布した。	市内小・中学生に標語及びポスターを募集することにより、人権教育の意識づけを行うことができた。クリアファイルに標語等を印刷することで日常から目にすることで啓発につながっている。	B	継続
	単位:千円 H28決算 248	社会教育課					

I 男女がともに参画できる社会への意識づくり

I-(1) 男女共同参画社会の形成のための啓発活動の充実

I-(1)② 男女共同参画意識を高める啓発活動の充実

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
5	広報紙、ホームページ等による啓発 ・市報、ホームページ等を活用し、男女共同参画に関する情報提供や意識啓発を行います。	男女共同参画啓発事業	B	HP等での啓発を行った。	依頼に応じて広報等に掲載を行ったが今後も意識啓発を図っていく必要がある。	B	拡充
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					岐阜県を初めとする海津市外で実施している事業の広報依頼に対してもHPの掲載・市報など掲載の対応をする。
6	男女共同参画に関するフォーラム等のイベント開催 ・男女共同参画に関する意識啓発のためフォーラム等を開催します。	男女共同参画フォーラム事業	B	男女共同参画推進フォーラム開催日時平成28年9月24日(土)開催場所:海津市文化センター講師:白井文(しらいあや)氏演題:男女共同参画と私たちの未来～意思決定の場に女性を～来場者数:224人	来場者が昨年より減ったためより多くの市民に男女共同参画に対する理解を深めていただくために開催に際してのPRに一層努めた。	B	掲載しない
	単位:千円 H28決算 268	市民活動推進課					開催しない

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
7	男女共同参画に関する出前講座の実 ・男女共同参画意識の高揚を図るため、希望 する市民組織に対して、出前講座を実施しま す。	男女共同参画啓発事業	D	平成28年度実績としては、開催回数は0回で あった。	毎年「海津市生涯学習のご案内」という冊子 の中で、出前講座のメニューの1つとして記 載しているが、開催の要望がない為、引き続 き広報活動に努めていく。	D	拡充
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					商工観光課と連携し、 市内企業向けの講座メ ニューも作り要望があ れば、講座を開催する。
8	男女共同参画週間・月間での積極的周 知 ・国の男女共同参画週間、岐阜県の男女共 同参画強化月間等に合わせて啓発等を行 い、男女共同参画の機運を高めます。	男女共同参画啓発事業	B	依頼先からの原稿の送付が広報の締め切り に間に合わず掲載が出来なかった。	HPでの掲載を検討する。	B	掲載しない
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					No.5広報誌・HPによ る啓発と内容が類似 している為。
9	広報物のガイドラインに沿った広報・刊 行物の発行 ・広報物のガイドラインを時代の変化とともに 見直しながら、その活用を図ります。	男女共同参画啓発事業	A	ガイドラインの改定を行い、PJ委員会をはじ めとして周知、活用を促した。	今後も適切な表現がなされるように啓発を 行っていく。	A	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					
10	性と生殖に関する健康・権利の視点の 啓発 ・男女がお互いの性と健康について理解し、 尊重し合うことができるような啓発活動を行 います。	健康相談事業 健康教育事業	B	健康教育、健康展、市報掲載などで、性別に よる特有のがんや、疾患などの健康に関す る情報提供をし、お互いの健康について理解 して健康づくりの推進ができるよう意識啓発 を行った。	健康教育は、男性よりも女性の参加率が高 い。男性への啓発機会が少ない傾向にある ので、啓発手段や内容を工夫することが必 要。	B	掲載しない
	単位:千円 H28決算	健康課					
	性と生殖に関する健康・権利の視点の 啓発 ・男女がお互いの性と健康について理解し、 尊重し合うことができるような啓発活動を行 います。	男女共同参画啓発事業	B	男女が性別による固定的な役割分担意識を 解消するための啓発に努めた。	男女平等の意識を高めるためには、各課と 連携しながら進めていく必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					HPでの情報提供や フォーラムの講演の 内容等で検討する。

I 男女がともに参画できる社会への意識づくり

I-(2) 多様な選択を可能にするための教育・学習の充実

I-(2)① 男女平等を推進する教育の充実

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
11	男女平等を推進する教育の実施 ・学校において道徳、特別活動、総合的な学習の時間や幼稚園・保育園の活動時において男女平等を推進する教育を実施します。	小学校10校運営事業 中学校3校運営事業	B	社会科や道徳などすべての授業において、人権同和教育の観点から明確にした指導を展開し、児童生徒の意識啓発を行った。特に道徳においては「男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する」という内容項目について、全ての学年で授業を行った。	授業や学校行事など学校における教育活動は、常に男女平等の考え方を基本に、おのおのの特性が発揮されるように配慮されている。	B	継続
	単位:千円 H28決算	学校教育課					
11	男女平等を推進する教育の実施 ・学校において道徳、特別活動、総合的な学習の時間や幼稚園・保育園の活動時において男女平等を推進する教育を実施します。	公立保育園運営管理事業	B	市報に子育て支援の活動予定を掲載し、市内10ヶ所で活動を行った。	・子育て支援の活動をPRすることで、利用しやすい環境作りが必要である。 ・保護者同士での交流がしやすい雰囲気作りが必要である。	B	継続
	単位:千円 H28決算 181,457	こども課					
12	教職員に対する研修等の開催 ・教職員等指導者を対象に、男女平等についての研修を実施し、その実践に努めます。	人権教育教員研究会事業	B	児童生徒の人権感覚や男女共同参画意識の啓発に資する教職員研修を様々な実施した。「学校人権同和講習会」「転入職員人権同和研修会」「情報モラル講座」「初任教員福祉施設体験学習」「市費支援員等研修会」	児童生徒の人権感覚を高めようとする指導援助の充実により、性差による差別など、様々な人権問題に対する認識力、自己啓発力、行動力の高揚を図った。	B	継続
	単位:千円 H28決算 129	学校教育課					
13	保護者に対する男女共同参画の働きかけ ・保護者に対して、家庭、子育てにおける男女平等意識を高めるよう働きかけを行います。	人権・同和問題啓発事業	B	各学校における懇談会や学年研修会等で、家庭や地域における女性の役割の重要性が認識できるような内容を取り上げた。	地域や家庭における性差による差別、男女共同参画社会の実現への課題等について、学校教育の立場からの啓発を行った。	B	継続
	単位:千円 H28決算	学校教育課					
14	公立中学校における職場体験の実施 ・子どもの頃から男女共同参画の視点に立ち、生涯を見通した総合的なキャリア教育を推進します。	職場体験学習補助事業	B	中学2年生の生徒全員を対象に、5日連続の職場体験研修を実施した。男女平等を基本としながら、それぞれの特性を生かした職業体験が行えるよう指導した。	各事業所との連携により、男女それぞれの特性や各々の個性を生かしたキャリアについて、認識を深めさせることができた。	B	継続
	単位:千円 H28決算	学校教育課					

I 男女がともに参画できる社会への意識づくり

I-(2) 多様な選択を可能にするための教育・学習の充実

I-(2)②男女共同参画に関する学習機会の充実

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
15	男女共同参画に関するセミナーの実施 ・男女共同参画に関するセミナーを開催します。 単位:千円 H28決算 268	男女共同参画セミナー事業 市民活動推進課	D	フォーラムと同時開催として実施した。 男女共同参画推進フォーラム開催日時平成28年9月24日(土)開催場所:海津市文化センター講師:白井文(しらいあや)氏演題:男女共同参画と私たちの未来～意思決定の場に女性を～来場者数:224人	フォーラムとセミナーを合わせて実施した。今後はセミナーのみを実施して男女共同参画についての啓発と学習機会の提供をしていきたい。	C	継続
16	子育て支援事業に父親が参加できる機会の設定 ・子育て支援センター等の親子のふれあい活動などに、多くの父親が参加できるよう、積極的な呼びかけや、開催日時・募集方法を工夫します。 単位:千円 H28決算 34,628	地域子育て支援拠点事業 こども課	B	市報に子育て支援の活動予定を掲載し、市内10ヶ所で活動を行った。	・子育て支援の活動をPRすることで、利用しやすい環境作りが必要である。 ・保護者同士での交流がしやすい雰囲気作りが必要である。	B	継続
17	各種講座・セミナーの開催及び男女共同参画の視点による運営 ・学びたい市民を対象にテーマ別講座・連続講座等を開催します。講座等の運営にあたり、男女が出席しやすい日時に講座を設定するなど、受講生に対して、男女の差別なく、講座での役割分担、配席、受講者名簿の順番等の取扱いに留意し、社会的・文化的に形成された性差別に敏感な視点を持って運営します。 単位:千円 H28決算	生涯学習講座(企画)運営事業 社会教育課	B	受講生に対して、公平になるような(男女差別等)講座の設定、運営を実施した。	講座を男女が参加しやすい日時(平日夜、休日)に設定したため、女性や高齢者の方の参加が多くみられ、継続して受講される方もみられる。 悠々楽習講座・高齢者学級については人権をテーマにした講座を位置づけ啓発を図った。	B	継続
18	図書館における男女共同参画に関するコーナーの設置及び関連書籍の貸し出し ・図書館に男女共同参画に関するコーナーを設置し、関係書籍の貸し出しを行います。 単位:千円 H28決算 20	図書資料購入事業 図書館	C	対面読書室に関連図書を設置準備	元々該当する図書の発行が少ないため、購入するのが困難である。	C	継続

I 男女がともに参画できる社会への意識づくり

I-(3)女性等に対するあらゆる暴力の根絶

I-(2)①あらゆる暴力を予防するための啓発活動の充実

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
19	女性等に対する暴力防止の意識啓発・予防啓発 ・配偶者等からの暴力(DV)、セクシュアル・ハラスメントや性犯罪、パワー・ハラスメントに関するパンフレット等を配布し、主に女性が被害者となるあらゆる暴力防止の意識を高めるため、及び被害者の早期相談を促すための予防啓発を行います。	男女共同参画啓発事業	B	・DVに関するパンフレットを窓口置き周知した。	女性に対する暴力をなくす運動などPR週間で県などから配布される資料を窓口だけでなく市内各施設に設置し、週間に合わせてさらに広く周知していくことが課題である。	B	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					
	女性等に対する暴力防止の意識啓発・予防啓発 ・配偶者等からの暴力(DV)、セクシュアル・ハラスメントや性犯罪、パワー・ハラスメントに関するパンフレット等を配布し、主に女性が被害者となるあらゆる暴力防止の意識を高めるため、及び被害者の早期相談を促すための予防啓発を行います。	母子自立支援事業	B	・DVに関するパンフレットを窓口置き市民に周知した。 ・「女性に対する暴力をなくす運動」にてDV相談の案内のカード等を市民に配布した。	被害者の早期相談を促すため、窓口等で、広く啓発活動を行うことができた。	B	継続
	単位:千円 H28決算	社会福祉課					
20	性犯罪防止の取り組み ・夜間でも安心して街路を通行できるよう防犯灯を設置したり、海津地区防犯協会に補助金を交付することで、地域防犯パトロールや市民への性犯罪発生情報の提供を行います。	防犯灯設置事業 防犯協会補助事業	B	・市内全域の防犯灯をLED化した。 ・青色パトロール車2台により防犯パトロールを実施し、夜間の安心・安全の確保を図った。	地域からの要望に対し、迅速に防犯灯を設置することにより、犯罪の防止に取り組んでいる。 今後の課題としては、ソフト面において、職員の防犯パトロールを強化し、より安心して街路を通行できる環境づくりをしていく必要がある。	A	継続
	単位:千円 H28決算 6,619	市民活動推進課					
21	若年層の暴力を根絶するための取り組みの推進 ・若年層を対象とした、「デートDV」を未然に防ぐための啓発を行います。	中学校3校運営事業	B	学校生活における様々な問題行動に対して、人権や立場の尊重を基本とした指導を行った。特に暴力行為等については、関係諸機関と連携し、問題解決の徹底を図った。	近年SNS等を介した男女生徒間のトラブルの増大が危惧されている。情報モラルの指導の一層の充実が喫緊の課題である。	B	継続
	単位:千円 H28決算	学校教育課					
22	児童虐待・DV防止に関する広報・啓発 ・ポスターやパンフレットの配布のほか、子育て支援相談等により、児童虐待及びDV防止の啓発を行います。	家庭児童相談室運営事業 母子自立支援事業	B	・「児童福祉週間」及び「児童虐待防止月間」について、市報に掲載した。 ・児童虐待防止ポスター・パンフレットを各関係機関に配布した。	市報・ホームページの掲載や、ポスター・パンフレットを各関係機関に配布することで、虐待防止を呼びかけ、啓発活動が行えた。 今後はさらに、児童虐待防止のチラシ等を作成し、より広い周知を目指したい。	B	継続
	単位:千円 H28決算	社会福祉課					

I 男女がともに参画できる社会への意識づくり

I-(3)女性等に対するあらゆる暴力の根絶

I-(2)②被害者の救済体制の強化

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
23	配偶者等からの暴力に関する相談窓口の設置 ・福祉事務所において、配偶者等からの暴力に関する相談窓口を設置し、問題解決に向けて支援します。 単位:千円 H28決算	母子自立支援事業 社会福祉課	B	被害相談があった場合には、緊急性の有無を確認し、警察等の関係機関との連携を図った。	女性相談センター、警察、子ども相談センター等関係機関との連携を密にし、相談者及び被害者に、個々に対応することができた。	B	継続
24	被害者女性等の保護・救済支援の実施 ・相談内容や被害の深刻さにより、関係機関(女性相談センター、子ども相談センター、警察等)と連携し、保護や自立に向けた支援を行います。 単位:千円 H28決算	母子自立支援事業 社会福祉課	B	被害者の保護を実施し、自立に向けた支援を行った。	女性相談センター、警察、子ども相談センター等関係機関と連携して保護を実施し、今後の自分の身の振り方を考え、自立できるよう支援することができた。	B	継続
25	DV防止計画策定の検討 ・支援体制についてのネットワーク化を図り、救済体制づくりを推進するため、DV防止計画の策定を検討します。 単位:千円 H28決算	母子自立支援事業 社会福祉課	B	「第3次海津市男女共同参画プラン」と一体化でDV防止基本計画を策定した。	「第3次海津市男女共同参画プラン」と一体化でDV防止基本計画を策定した。	B	掲載しない
26	要保護児童対策の連携体制の整備 ・児童虐待を始めとする要保護児童の早期発見、早期対応及び適切な保護を図るため、子どもに関わる関係課及び関係機関の連絡体制の強化等連携強化を図ります。 単位:千円 H28決算 18	要保護児童対策地域協議会運営事業 社会福祉課	B	代表者会議1回、実務者会議2回、ケース検討会議14回を行った。 虐待の疑いの連絡があった場合は48時間以内に状況の確認を実施した。状況により家庭訪問や保護者への指導も行った。	要保護児童対策地域協議会の関係機関との連携を密にすることができた。今後も関係課及び関係機関との連絡体制の強化を図りたい。	B	継続

Ⅱ 男女がともに働きやすい環境づくり

Ⅱ-(1)雇用の分野における男女平等の推進

Ⅱ-(1)①男女の均等な雇用機会の確保と推進

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
27	事業主に対する法制度に関する情報提供 ・事業主に対して、男女雇用機会均等法をはじめとする労働関連法令の情報提供を行い、法改正などを周知します。 単位:千円 H28決算	労働環境改善事業 商工観光課	B	・労働関連法令等の各種パンフレット等を窓口を設置し、広く啓発を図った。 ・無料職業紹介所において、求人相談の際にパンフレット等の配布・情報提供を行った。	・相談の際の啓発については、パンフレットを活用した説明が有効な手段となった。 ・関係機関より情報を収集し、啓発すべき情報を明確にするよう努める。	B	継続
28	働く男女へ法制度に関する情報提供 ・労働者に対して、労働に関する法令の普及啓発や労働条件に関する改善等の情報提供を行います。 単位:千円 H28決算	労働環境改善事業 商工観光課	B	・労働関連法令等の各種パンフレットを窓口を設置し、広く啓発を図った。 ・無料職業紹介所において、求人相談の際にパンフレット等の配布・情報提供を行った。 ・窓口及び相談室に啓発ポスターの掲示を行った。	・相談の際の啓発については、パンフレットを活用した説明が有効な手段となった。 ・関係機関より情報を収集し、啓発すべき情報を明確にするよう努める。	B	継続
29	雇用・労働に関する相談機会の提供 ・国や県、関係機関等と連携し、雇用や労働に関する相談機会の提供とともに、相談窓口等の情報提供などを進めます。 単位:千円 H28決算	雇用支援事業 商工観光課	A	・労働関連法令等の各種パンフレットを窓口を設置し、広く啓発を図った。 ・無料職業紹介所において求人相談の際に関係機関と連携した相談体制を構築した。	・関係機関より情報を収集し、啓発すべき情報を明確にするよう努める。	A	継続

Ⅱ 男女がともに働きやすい環境づくり

Ⅱ-(1)雇用の分野における男女平等の推進

Ⅱ-(1)②女性の職業能力発揮のための支援

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
30	就業支援機関の情報提供 ・女性に対して、県など関係機関等が行う職業能力の向上を図る研修等の情報提供を行います。	その他商店街支援事業	B	・関係機関等の行う職業訓練及び講習会等の各種情報を随時収集し、希望者への対応体制を整えていた。	・関係機関から送付されてくる情報が少ないため、幅広く情報を収集する必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	商工観光課					
	就業支援機関の情報提供 ・女性に対して、県など関係機関等が行う職業能力の向上を図る研修等の情報提供を行います。	男女共同参画啓発事業	B	研修等があれば、情報提供を行った。	県等から情報を収集し、事業所に周知するよう努める。	B	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					
31	女性の起業支援のための情報提供 ・起業を目指す女性に対して、起業に関する情報提供を行います。また、ハローワーク大垣に出前職業相談の実施を要望します。	雇用支援事業	B	・女性の起業を支援するため、「西美濃創生広域連携推進協議会(3市9町)」が実施する創業支援事業を活用すべく相談、受付体制を整えていた。	・関係機関から送付されてくる情報が少ないため、幅広く情報を収集する必要がある。 ・広域連携事業であるため、事務局と連携を密にして、相談・受付体制を整えておく。	B	継続
	単位:千円 H28決算	商工観光課					
32	女性の再就職の支援など雇用環境の整備に関する啓発 ・結婚や出産等で退職した女性を再雇用する制度を設ける等、事業主への啓発を行います。	労働環境改善事業	B	・労働関連法令等の各種パンフレット等を窓口を設置し、広く啓発を図った。 ・地域創生加速化交付金を活用し、女性のための職場環境づくり補助事業を実施した。 ・地域創成加速化交付金を活用し、女性の就業を支援する補助事業を実施した。	・地域創生加速化交付金を活用した補助事業を実施したことにより、女性の職場環境づくり及び女性の就業支援に繋げることができた。	A	継続
	単位:千円 H28決算 2,617	商工観光課					

Ⅱ 男女がともに働きやすい環境づくり

Ⅱ-(2) 仕事と生活の調和への支援

Ⅱ-(2)① 育児との両立支援策の充実

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
33	育児休業制度の啓発 ・広報等さまざまな媒体を活用して、育児休業制度の普及啓発を行います。	労働環境改善事業	B	・労働関連法令等の各種パンフレット等を窓口を設置し、広く啓発を図った。 ・無料職業紹介所において、求職相談の際にパンフレット等の配布・情報提供を行った。	・相談の際の啓発については、パンフレットを活用した説明が有効な手段となった。 ・関係機関より情報を収集し、啓発すべき情報を明確にするよう努める。	B	継続
	単位:千円 H28決算	商工観光課					
34	男性への育児休業取得への働きかけ ・女性だけでなく、男性も積極的に育児休業制度を活用し、男女が協力して子育てできるよう市内事業所等へ働きかけを行います。	労働環境改善事業	B	・労働関連法令等の各種パンフレット等を窓口を設置し、広く啓発を図った。 ・無料職業紹介所において、求職相談の際にパンフレット等の配布・情報提供を行った。	・相談の際の啓発については、パンフレットを活用した説明が有効な手段となった。 ・関係機関より情報を収集し、啓発すべき情報を明確にするよう努める。	B	継続
	単位:千円 H28決算	商工観光課					
35	次世代育成支援行動計画の数値目標のある保育サービスなどの着実な遂行 ・男女ともに、仕事と家庭の両立ができるように、保育サービスなど数値目標のある事業の目標達成に向けて、社会環境の整備を着実に進めます。	特別保育事業 (延長保育、低年齢児保育、一時預かり事業) 病児保育事業 休日保育事業 留守家庭児童教室運営事業	B	働く保護者のニーズに対応するために、以下の事業を実施した。 ・低年齢児保育、障がい児保育、病児・病後児保育を実施した。 ・【公立】ではAM7:30～AM8:00とPM6:30～PM7:00まで、【私立】ではAM7:00～AM8:00とPM6:00～PM7:00(一部の園ではPM7:30)まで延長保育を実施した。 ・市内12ヶ所の保育園・認定こども園で一時預かりを実施した。 ・市内11か所で留守家庭児童教室を開設した。	・働く保護者のニーズに対応するために、未就学児童に対しては延長保育等の特別保育を、小学生に対しては留守家庭児童教室を今後も継続していく。 ・家庭で一時的に保育が困難になった場合や育児の不安解消のため、一時預かりは必要であるため今後も継続していく。	B	継続
	単位:千円 H28決算 57,309	こども課					
36	障がい児等の放課後対策の実施 ・特別支援学校等に通う児童を対象として、放課後・長期休暇中に一時預かりを実施することにより、保護者の仕事と子育ての両立を支援します。	海津市障がい児タイムケア事業	B	障がいのある子どもの一時預かりを実施することにより、保護者の就業時間の確保や、家族の負担軽減が図られた。	保護者の就業時間の確保や、家族の負担軽減を図るため、今後も継続すべき事業である。しかし、年々利用者が減少しているため、特別支援学校等と連携し、事業の周知を図る必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算 5,841	社会福祉課					

Ⅱ 男女がともに働きやすい環境づくり

Ⅱ-(2) 仕事と生活の調和への支援

Ⅱ-(2)② 介護との両立支援策の充実

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
37	海津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の介護給付サービスの着実な実施 ・男女ともに、仕事と介護の両立ができるように、介護給付事業を着実に実施します。	介護保険給付事業 (居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス)	B	支援困難な事例(権利擁護、認知症高齢者、複合課題等)の個別ケア会議や認知症施策推進のため、医療、福祉、地域団体等に関係する代表者によるサービスの総合調整や地域課題の検討、ネットワークの構築につなげる地域ケア推進会議を実施した。 地域ケア会議の実施(19回)	関係者と連携し、問題を抱える相談者を、介護サービスという形で負担軽減につなげることが出来た。	B	継続
	単位:千円 H28決算	高齢介護課					
38	介護休業制度の啓発 ・広報等さまざまな媒体を活用して、介護休業制度の普及啓発を行います。	労働環境改善事業	B	・関係機関等の各種パンフレットを窓口に設置し、啓発を図った。 ・窓口及び相談室に啓発ポスターの掲示を行った。	関係機関等から送付されてくる情報が少ないため、幅広く情報を収集する必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	商工観光課					

Ⅱ 男女がともに働きやすい環境づくり

Ⅱ-(2) 仕事と生活の調和への支援

Ⅱ-(2)③ ライフスタイルに応じた多様な働き方の支援

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
39	多様な働き方に関する事業主への情報提供 ・事業主に対して、多様な働き方のできる制度に関する情報提供を推進します。	労働環境改善事業	B	・労働関連法令等の各種パンフレット等を窓口に設置し、広く啓発を図った。 ・無料職業紹介所において、求人相談の際にパンフレット等の配布・情報提供を行った。	関係機関等から送付されてくる情報が少ないため、幅広く情報を収集する必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	商工観光課					
40	一般事業主行動計画の啓発 ・広報等さまざまな媒体を活用して、次世代育成支援一般事業主行動計画策定に関する一般事業所への普及啓発を行います。	労働環境改善事業	B	・関係機関等の各種パンフレットを窓口に設置し、啓発を図った。	関係機関等から送付されてくる情報が少ないため、幅広く情報を収集する必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	商工観光課					
41	労働条件改善のための啓発 ・県の「早く家庭に帰る日」の普及啓発等による「時間外勤務の制限」や、有給休暇の取得、フレックスタイム制度などの導入、働く女性の母性の保護、健康管理の徹底などについて、事業主等への啓発を行います。	労働環境改善事業	B	・関係機関等の各種パンフレットを窓口に設置し、啓発を図った。 ・各種強化月間ポスターを窓口及び相談室に掲示して啓発を図った。	関係機関等から送付されてくる情報が少ないため、幅広く情報を収集する必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	商工観光課					

Ⅱ 男女がともに働きやすい環境づくり

Ⅱ-(2)仕事と生活の調和への支援

Ⅱ-(2)④ひとり親家庭への支援の充実

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
42	ひとり親家庭の相談窓口の設置 ・ひとり親家庭が、自立して生活ができるよう に、母子自立支援員を設置して、随時、相 談・指導を行います。	母子自立支援事業	B	ひとり親家庭が、自立して生活できるよう、各 種相談に応じ、必要のあるひとり親世帯につ いては就労支援を行った。	養育費確保の必要性についての指導をして いく。	B	継続
	単位:千円 H28決算	社会福祉課					
43	ひとり親家庭への就労支援の実施 ・就労のための技能習得や資格習得に対し て給付金を支給します。	自立支援給付金事業	B	資格取得のためにひとり親家庭に対し、高等 職業訓練促進給付金制度を紹介したが、該 当者がいなく支給はなかった。	高等職業訓練促進給付金を支給し、就労を 支援できるよう、今後も、ひとり親家庭に対し て事業の周知を続けていく。	B	継続
	単位:千円 H28決算	社会福祉課					
44	ひとり親家庭への経済支援 ・ひとり親家庭が、自立して生活ができるよ う、所得に応じて児童扶養手当の支給をし ます。	児童扶養手当支給事業	A	ひとり親家庭となった方の生活の安定と自立 を助け、子どもの心身の健やかな成長のた めに手当の支給を行った。	今後も、ひとり親家庭の子どもの心身の健や かな成長のため手当の支給を継続していく。	B	継続
	単位:千円 H28決算 189	社会福祉課					
	ひとり親家庭への経済支援 ・ひとり親家庭が、自立して生活ができるよ う、所得に応じて児童扶養手当の支給や、医 療費の助成をします。	福祉医療費助成事業	B	母子家庭等 5,939件 14,388,046円 父子家庭 468件 1,226,381円	平成18年度から始まった父子家庭 医療費助成制度が浸透し、母子家 庭等とともに平等になった。	B	継続
	単位:千円 H28決算 312,421	保険医療課					

Ⅱ 男女がともに働きやすい環境づくり

Ⅱ-(3) 農林漁業、商工自営業における労働環境の整備

Ⅱ-(3)① 家族就労者の労働環境の改善

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
45	女性の認定農業者登録への働きかけ ・共同経営をしている女性へ認定農業者登録を働きかけます。 単位:千円 H28決算	近代化資金等利子補給金事業 農林振興課	B	◎女性認定農業者(認定新規就農者含む) 28年度認定者:0名 現在:5名 ◎家族経営協定の締結 28年度立会件数:0件	認定農業者の認定には様々な条件を満たす必要があり、対象者が限られてくる為、認定数を増やすことは容易ではない。 現在、新規就農者の為の支援事業も行っている為、男女問わず海津市で農業をやってみたいと思ってもらえるようにより一層PRを工夫していきたい。	B	継続
46	女性の農業者年金加入の加入指導 ・農業者の老後の生活を保障する農業者年金に女性も加入するよう農家へ訪問指導し促進します。 単位:千円 H28決算	農業委員会運営事業 農業委員会	B	女性新規加入者 2名	農業経営者が「妻にも同じように年金を」という思いから、夫婦同時加入が2件あった。今後も新規就農者・家族経営協定締結者を中心に、広く周知していく必要がある。	B	継続
47	家内労働に従事する女性への情報提供 ・商工自営業の女性従事者に対しての情報提供を行います。 単位:千円 H28決算	商工会支援事業(商業) 商工会支援事業(工業) 商工観光課	B	・関係機関等の各種パンフレットを窓口に設置し、啓発を図った。	・関係機関等から送付されてくる情報が少ないため、幅広く情報を収集する必要がある。	B	継続

Ⅲ 男女がともに担う地域社会づくり

Ⅲ-(1) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

Ⅲ-(1)① 審議会、委員会等への女性の参画推進

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
48	審議会、委員会等への女性の積極的な登用 ・女性委員の登用を積極的に進めていきます。また、登用状況を定期的に調査し、公表します。 単位:千円 H28決算	男女共同参画啓発事業 市民活動推進課	B	全体では27.7%の登用状況となった。	女性委員が0名の審議会も多くある為、庁舎内にて啓発していく必要がある。	B	継続

Ⅲ 男女がともに担う地域社会づくり

Ⅲ-(1) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

Ⅲ-(1)② 女性の人材の発掘と育成

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
49	女性団体への情報提供 ・女性団体・グループを対象に、情報提供を行い、活動の活性化を図ります。 単位:千円 H28決算	男女共同参画啓発事業 市民活動推進課	C	女性団体の把握ができていないので、提供する宛先が分からない。	女性団体、グループなどが一覧となったリストなどを作成していないため、県からの情報を提供する宛先分からない。	D	継続 各課に女性団体を推薦してもらい、女性団体のリストを作成することを検討する。
50	女性人材リストの作成と活用 ・市内で活躍する女性の人材リストを作成し、審議会、委員会等の委員選定等に活用します。 単位:千円 H28決算	男女共同参画啓発事業 市民活動推進課	A	女性人材リストの更新を実施した。また、フォーラムの際に配布資料の一部に女性人材リストの募集を掲載し、啓発クリアファイルにも女性人材リスト募集の旨を掲載した。	女性の人材を募集と共に庁舎内の会議において積極的な活用を促していく必要がある。	A	継続

Ⅲ 男女がともに担う地域社会づくり

Ⅲ-(2) 地域等における男女共同参画の促進

Ⅲ-(2)① 地域活動等への参画促進

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
51	地域活動等への参加の啓発 ・男女がともにさまざまな地域活動へ参画できるよう、啓発活動を推進します。	男女共同参画啓発事業	B	フォーラムの際に配布資料の一部に女性人材リストの募集を掲載した。また、啓発クリアファイルにも女性人材リスト募集の旨を掲載した。	即効性のある啓発活動がないため、地道に啓発活動を実施していく必要がある。	B	継続 男性の人材リストの作成も検討していく。
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					
	地域活動等への参加の啓発 ・男女がともにさまざまな地域活動へ参画できるよう、啓発活動を推進します。	家庭教育支援事業	B	男女がともに学ぶ場であるクラブ・サークル活動の支援として、社会教育施設使用料の減免を行った。	男女共同参画に関する特別な啓発は行っていないが、さまざまな地域活動が男女の差別なく行われており、おおむね実施されていると考える。	B	継続
	単位:千円 H28決算	社会教育課					
52	市民リーダーの育成 ・まちづくり講座の開催等を行い、地域活動、まちづくり活動の指導的な立場の人材の育成を行います。	NPOコミュニティ論事業	A	岐阜県コミュニティ診断士資格の取得を目的に、NPOコミュニティ論について、DVDによる聴講を実施した。	まちづくり活動の指導的な立場の人材の育成を目的とした講義であったが、受講者が1名であった。 女性のコミュニティ診断士が少ないので、継続して市民に啓発していく。	A	継続
	単位:千円 H28決算 134	市民活動推進課					
53	家庭生活における男女共同参画の啓発 ・男女がともに家事、育児、介護等に参画できるよう、啓発活動を推進します。	男女共同参画啓発事業	B	平成28年2月21日(日)に開催された津市人権啓発推進大会開催時にロビーにパネル展示を行った。	開演時にロビーにてパネルが展示してある旨をお伝えしたところ、多くの来場者にパネルを見てもらうことができたのでよかった。	B	継続
	単位:千円 H28決算 226	市民活動推進課					
54	地域活動での男女共同参画の意識啓発 ・自治会やPTA活動などにおいて、意思決定の場へ女性が主体的に関わることを啓発するとともに、性別にとらわれない役割分担を推進します。	自治振興事業	B	フォーラム時に、パネルを展示し、啓発活動を実施した。	自治組織における男女共同参画はまだまだ浸透していないので、意識づけを継続していく必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					
	地域活動での男女共同参画の意識啓発 ・自治会やPTA活動などにおいて、意思決定の場へ女性が主体的に関わることを啓発するとともに、性別にとらわれない役割分担を推進します。	小学校10校運営事業 中学校3校運営事業	B	各学校における保護者を対象とした講演会や、PTAの研修活動の中で、男女共同参画の必要性や重要性に関する内容を取り上げた。	PTA活動においては、母親(女性)の立場や働きがますます重要になり、女性がPTA会長の任を果たすことも多くなっている。	B	継続
	単位:千円 H28決算	学校教育課					

Ⅲ 男女がともに担う地域社会づくり

Ⅲ-(2) 地域等における男女共同参画の促進

Ⅲ-(2)② 団体・グループ間の交流促進

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
55	市民団体のネットワークづくりの支援 ・地域におけるさまざまな団体・グループの情報交換やネットワークの形成を推進します。	NPO活動推進事業	B	市民活動団体の代表者の意見交換会を実施した。	市民活動団体間での連携が取れる組織づくりが必要である。	B	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					
55	市民団体のネットワークづくりの支援 ・地域におけるさまざまな団体・グループの情報交換やネットワークの形成を推進します。	家庭教育支援事業	B	にこにこ子育て支援事業の子育て相談チームや子育て応援隊の実務者会を開催し、専門的職や市民活動団体が専門的立場からの支援、情報交換、意見交流を行ってきた。	各専門職や市民活動団体の専門的立場からの支援、情報交換、意見交流の場を提供でき、各団体間のネットワークが形成され、一つの行事にそれぞれの立場で参加しお互いを支援することができた。	B	継続
	単位:千円 H28決算	社会教育課					
56	ボランティア活動やNPO活動に関する情報提供 ・ボランティア活動など、市民活動の促進に関する情報提供を行います。	NPO活動推進事業	B	ホームページによって情報提供を行った。	ホームページだけでなく他の媒体による情報提供を行う必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					

Ⅳ 福祉の充実と生涯を通じた健康づくり

Ⅳ-(1) 安心して生活できる支援の充実

Ⅳ-(1)① 高齢者や障がい者等の自立支援

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
57	海津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の生活支援サービス及び社会参加と支えあいの体制づくりの着実な推進 ・男女がいつまでも健やかではつらつと暮らせるよう、計画的に生活支援サービスを実施するとともに、高齢者の社会参加を進め、自立した生活が送れるよう、計画的に体制づくりを行います。	寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業 訪問理美容サービス事業 緊急通報システム事業 家族介護慰労事業 配食サービス事業 生きがい活動支援通所事業 家族介護用品支給事業 老人福祉関係運営事務事業 老人クラブ育成事業 シルバー人材センター補助事業 老人福祉施設措置事業	B	高齢者の生きがいづくり、健康づくりを進めるとともに、社会参加活動や生涯活動に取り組むことを促し、高齢者最大の自主組織である老人クラブの育成を図った。 また、住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう介護保険制度を補完し、介護が必要な状態にならないようにするため、各種サービスの提供と介護予防を行った。 出前講座開催 認知症予防教室：830名 運動教室：334名 栄養教室：213名 口腔ケア教室：87名 の方に受講していただいた。	出張型介護予防講座はより多くの一般高齢者に介護予防について情報提供し、実践していただく機会をつくることできる。 高齢者の会合に出向くことで、地域の住民の声を聞いて、今後の地域課題について考えていく機会にもつながる。	B	継続
	単位：千円 H28決算 海津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の生活支援サービス及び社会参加と支えあいの体制づくりの着実な推進 ・男女がいつまでも健やかではつらつと暮らせるよう、計画的に生活支援サービスを実施するとともに、高齢者の社会参加を進め、自立した生活が送れるよう、計画的に体制づくりを行います。 単位：千円 H28決算 16,511	高齡介護課 海津苑施設運営管理事業 社会福祉課		高齢者が健やかではつらつと暮らせるように、老人福祉センター、高齢者生きがいセンターを運営した（指定管理者制度）。高齢者身分証明書を交付し、利用料の減免を行うことで、高齢者の施設利用を促進した。	今後も指定管理者による施設運営を継続し、健やかではつらつと暮らせる場を提供する。	A	継続

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
58	海津市障がい者計画・障害者福祉計画の介護給付サービスの着実な推進 ・障がい者の社会参加を進め、自立した生活が送れるよう、障害の程度に応じたサービスが受けられるよう支援します。	障がい者相談支援事業 障害福祉サービス給付事業 地域生活支援事業	A	障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービス費給付等を行うことにより、日常生活の負担軽減を図るとともに、障がいのある人が自立した生活が送れるよう支援を行った。	今後も、障がいのある人が地域で安心してくらしたいけるよう、相談支援事業者、サービス事業者、医療機関等と連携を図っていく。	A	継続
	単位:千円 H28決算 484,856	社会福祉課					
59	国際感覚を高める啓発 ・在住外国人が暮らしやすくなるよう市民に対して、国際感覚を高める意識啓発を行います。	多文化共生推進事業	C	県から配布のあった外国人向けの刊行物を庁舎に掲示した。	市民向けの国際交流事業は、現在休止状態であるため、直接的に国際感覚を高めるような意識啓発を図ることは難しい。	C	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					かいづ国際交流の会と連携して、広報啓発等を実施する。
60	国際理解と国際交流の推進 ・国際交流の促進により、国際理解を深めるとともに、国際的視野に立った男女共同参画の意識啓発を行います。	国際交流事業	C	平成28年4月21日(木)に中国江西省関係者が海津市に表敬訪問した際、市と海津市商工会関係者と共に歓談した。	交流により、国際理解を深めることができたが、男女共同参画の理念を特に意識した事業展開は行わなかった。	C	掲載しない
	単位:千円 H28決算 82	市民活動推進課					交流は、両市・省の関係者のみの場の為、関係者に対して男女共同参画を意識して交流を図ることは非常に難しい。
	国際理解と国際交流の推進 ・国際交流の促進により、国際理解を深めるとともに、国際的視野に立った男女共同参画の意識啓発を行います。	男女共同参画啓発事業	C	県から配布のあった外国人向けの刊行物を庁舎に掲示した。	市民向けの国際交流事業は、現在休止状態であるため、直接的に男女共同参画に関連した上で国際感覚を高めるような啓発を図ることは難しい。	C	掲載しない
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					市民向けの国際交流事業は、現在休止状態であるため、直接的に男女共同参画に関連した上で国際感覚を高めるような啓発を図ることは難しい。

Ⅳ 福祉の充実と生涯を通じた健康づくり

Ⅳ-(2)生涯を通じた健康づくりへの支援

Ⅳ-(2)①男女の健康づくりへの支援

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
61	健康づくりに関する情報提供 ・市報等を活用して、健康教室、健康相談、各種健康診査、検診の情報提供を行い、受診率の向上や健康づくりへの参加を呼びかけます。	健康づくり推進事業	A	・市報、ホームページ、くらしのカレンダーに、健康に関する記事を掲載した。また、健康展や、健康月間である11月に健康に関する事業を行い、健康づくりに関する情報を提供した。 ・市民アンケートの実施	全市民対象への情報提供は、年齢の違いやライフスタイルの違いなど、対象者の状況は様々であることを念頭に、わかりやすく、興味を惹く内容となるように努める必要がある。	A	継続
	単位:千円 H28決算 4,361	健康課					
62	健康づくり教育の実施 ・サイズダウン教室など生活習慣病予防に関する教室を開催します。	健康教育事業	B	・サイズダウン教室(生活習慣病予防): 全7回の教室を、11月と1月に実施。 ・市民健康講座2回実施。	教室終了後も、対象者が継続して取り組める内容となるように努めた。今後も、個々の健康づくりに活かしやすい内容となるよう工夫したい。	B	継続
	単位:千円 H28決算 1,043	健康課					
63	健康展の開催 ・男女が、生涯にわたって健康づくりに関心を持つための働きかけを行います。	健康展実施事業	A	健康展を、10月29日(土)・30日(日)に実施。各種団体との協働し健康展を盛り上げた。来場者 延べ1,520名	多くの方に来場いただき、健康づくりに関心をもっていただけるよう働きかけができた。	A	継続
	単位:千円 H28決算 733	健康課					
64	喫煙・飲酒に関する正確な情報提供 ・特に女性については、喫煙や飲酒が胎児や生殖機能に影響を及ぼすこと等十分な情報提供に努めます。また、未成年者の喫煙・飲酒については、家庭、学校、地域が一体となってその予防に努めます。	健康相談事業 健康教育事業	C	ホームページに喫煙・禁煙に関する記事を掲載し情報提供をした。また、特に女性については、母子健康手帳交付時に、本人や周囲の喫煙・飲酒状況を確認し、個々に応じて情報提供をした。	未成年の喫煙・飲酒については、他課とも連携して取り組む必要がある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	健康課					
65	健康相談の実施 ・更年期障害など男女の生涯を通じた健康管理に関する相談を随時行います。	健康相談事業	B	必要に応じて健康相談を実施。	随時、個々の相談に応じることができた。今後も、相談窓口を広く周知し、利用していただけるよう努めたい。	B	継続
	単位:千円 H28決算 11	健康課					

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
66	出前講座の実施 ・市民の健康に関する気運を醸成するため、 出前講座を実施します。	出前講座事業	B	老人クラブや自治会など各団体からの依頼 に応じて、出前健康講座を実施 ・出前講座11回実施	今後も、対象となる団体に合わせ、テーマ・ 内容を工夫し、わかりやすい講座となるよう 努めていく。	B	継続
	単位:千円 H28決算	健康課					
67	思春期における性と健康づくりに関する 学習機会の提供 ・身体のしくみ、性感染症、望まない妊娠の 防止方法、自分の身体を大切にすること、異 性を尊重することなどを、学校等で学ぶ機会 を設けます。	小学校10校運営事業 中学校3校運営事業	B	体育(保健)の授業や養護教諭の指導によ り、性教育等の健康教育の充実・推進を図っ た。	SNSの普及拡大に伴う性に関する問題行動 の増大が危惧されるため、児童生徒のよりき め細やかな実態把握を、全教職員で進めて いかなければならない。	B	継続
	単位:千円 H28決算 6,978	学校教育課					
	思春期における性と健康づくりに関する 学習機会の提供 ・身体のしくみ、性感染症、望まない妊娠の 防止方法、自分の身体を大切にすること、異 性を尊重することなどを、学校等で学ぶ機会 を設けます。	次世代育成事業	D	平成26年度末をもって、「次世代育成事業」 が終了したため、施策を実施せず。	思春期の子どもを対象にした施策のため、こ ども課が所管する就学前児童には対応しな い。	D	掲載しない
	単位:千円 H28決算	こども課					事務事業が終了した ため、施策も実施せ ず。
68	性と生殖に関する健康・権利の視点の 啓発 ・男女がお互いの性と健康について理解し、 尊重し合うことができるような啓発活動を行 います。	健康相談事業 健康教育事業	B	リーフレットを窓口に設置し、情報提供を行 った。	正しい知識を普及するために、情報を分か りやすく紹介し、啓発を図る。	B	継続
	単位:千円 H28決算	健康課					
69	性感染症予防の啓発 ・HIV/エイズ、淋病、クラミジアをはじめ性 感染症の予防について啓発活動を実施する とともに、住民対象の健康教育の中に取り 入れます。	健康相談事業 健康教育事業	B	12月1日の世界エイズデーに合わせて、市報 でエイズについての情報提供を行ったり、 世界エイズデーのポスターを窓口に掲示した。	今後も正しい最新の情報提供に努める。	B	継続
	単位:千円 H28決算	健康課					

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
70	女性・男性に特有の病気・けが予防の啓発 ・乳がんや前立腺がん等女性や男性それぞれに特有の病気や健康状態に関する情報提供や啓発活動を行います。	乳がん検診事業	B	市報、ホームページなどへ関連する記事の掲載をした。また健康展、健康教育、家庭訪問、各種検(健)診事業をとおし普及啓発に努めた。 〈受診者数〉 ・乳がん検診:1,505名 ・前立腺がん検診:1,064名 ・子宮がん検診:1,046名 ・骨検診:1,311名	健康に問題がない時は、自分のこととして捉えにくい。予防の視点をもって健康づくりに取り組めるよう働きかけていく。	B	継続
		骨検診事業 前立腺がん検診事業 子宮がん検診事業					
	単位:千円	H28決算	22,005	健康課			
71	こころの健康の啓発 ・市報等を活用して、こころの健康に関する啓発活動を行います。	精神保健福祉事業	A	海津市内の主要な場所、市役所窓口で、パンフレットグッズを配布し、啓発運動を行った。	精神的な問題は周囲に相談しづらい場合が多く、1人で抱え込みやすい。幅広い年齢層の方にこころの健康、自殺予防対策について周知し、気軽に相談事業を利用してもらえるように啓発していく必要がある。	A	拡充
	単位:千円	H28決算	119	社会福祉課			
72	悩みごと相談の実施 ・市内3箇所で開催9回、精神科医による個別相談を実施します。	精神保健福祉事業	A	精神科医による精神保健相談を1日定員3名とし全9回実施。相談者数19名。	精神科医への相談を通じ、適切な対応方法のアドバイスを受け、解決の手掛かりや今後の方向性を見出すための支援ができたと考え。	A	継続
	単位:千円	H28決算	270	社会福祉課			

Ⅳ 福祉の充実と生涯を通じた健康づくり

Ⅳ-(2)生涯を通じた健康づくりへの支援

Ⅳ-(2)②母性の保護と母子保健の充実

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
73	乳幼児健診の実施と妊婦健康診査の一部助成 ・乳幼児を対象に心身の発達の確認、疾病・異常の早期発見を行い、子どもの健全な発育・発達を促します。 また、妊婦健診にかかる自己負担分の費用の一部を助成します。	妊婦健診事業 乳幼児健診事業	A	妊婦健診の費用助成、乳幼児健診の実施。 〈受診者数〉 ・乳児健診：受診者数176名（受診率97.2%） ・10か月児健診：受診者数192名（受診率95.0%） ・1歳6か月児健診：受診者数171名（受診率96.1%） ・3歳児健診：受診者数223名（受診率98.2%） ・妊婦健診受診延べ数1,983名	健診では助産師による母乳相談や保育士による集団あそび、歯科衛生士による個別相談などを実施し、多職種で関わり支援している。未受診者については、家庭訪問等で状況把握をしている。要観察児について事後の確認を行い、継続的な支援へつなげている。 妊婦健診は14回分の健診費用の一部を助成し活用されている。	A	継続
	単位：千円	H28決算	19,156	健康課			
74	母子保健の健康教室の開催 ・妊娠中から子どもの成長に合わせた内容の教室により親と子に対する支援を行います。	母親学級事業 離乳食学級事業 1歳児教室事業 たんぽぽ教室事業 2歳児教室事業	A	各種健康教室の実施 〈参加者数（延べ人数）〉 ・母親学級：51名（受講率31.5%） ・離乳食学級：124名（受講率66.3%） ・1歳児教室：139名（受講率69.5%） ・2歳児教室：131名（受講率70.8%） ・たんぽぽ教室：112名	くらしのカレンダーで日程周知を行っている。その他、事前の健診などで日程を案内、また母子保健推進員の訪問による受診勧奨を行っているため、受講率は維持できている。今後も保護者が参加したい、子どものために参加した方がよいと思えるような、各期の育児支援が行える教室運営に努める。また、関係機関と連携し、とぎれない支援をつなげていく。	A	継続
	単位：千円	H28決算	946	健康課			
75	母子保健の健康相談の実施 ・育児に関する悩みの軽減等を目的に保健師等による健康相談を随時開催します。	母子保健相談訪問等事業 母子保健推進員活動事業	A	各種健康相談の実施 〈相談者数（延べ人数）〉 ・乳幼児相談：393名 ・妊婦・母乳相談：94名 ・はみがき相談：23名 ・栄養相談：99名 ・家庭訪問：232名	相談者が求める支援について、具体的に相談に応じられるように専門職（助産師、看護師、歯科衛生士、保健師、栄養士等）と連携を図りながら、支援を続けていく。 また、保健師、助産師が第1子の母子の支援として、家庭訪問を実施し、育児不安の解消に努めている。	A	継続
	単位：千円	H28決算	524	健康課			
76	母体保護に関する啓発 ・妊婦に対する市民の理解を促すため、マタニティマーク等を活用するなど、啓発活動を推進します。	妊婦健診事業	A	・妊婦へのマタニティマークのついたグッズ（車用ステッカー、バック）の配布 ・母子保健推進員へ啓発資料の配布	啓発できている。引き続き当課で実施している保健事業等で周知を図っていく。	A	継続
							母子保健推進員の任期交代のため、啓発する。
	単位：千円	H28決算	73	健康課			

V プラン推進のための体制づくり

V-(1) 施策推進体制の整備

V-(1)① プランの進行管理体制の確立

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
77	審議会の定期開催 ・公募による市民委員を含む男女共同参画 推進審議会を年1回以上開催し、プランの進 捗管理・推進を図ります。	男女共同参画啓発事業	B	平成28年12月8日(第1回)、平成29年3月1日 (第2回)に審議会を開催した。	審議会を開催し、意見をいただき来年度の施 策に生かしていきたい。	B	継続
	単位:千円 H28決算 132	市民活動推進課					
78	プランの年次報告の作成 ・庁内組織により、1年ごとにプランの進行状 況を把握、検討し、評価を行います。結果に ついては、市民に公表します。	男女共同参画啓発事業	B	年次報告書を作成し、各庁舎内推進委員 会、審議会にて報告し、審議会委員より意見 をいただいた。	毎年同じような項目が進捗状況が思わしくな いものとして挙げられている。一方で、庁舎 内において女性の管理職の増加など企業に 対し女性の活躍促進のモデルとなるような形 が徐々に形成しつつある施策もある。	B	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					
79	プランの見直し・改訂 ・プランの内容については、行政を取り巻く社 会・経済的な行政の変化に伴い定期的な見 直し、改訂を行います。	男女共同参画啓発事業	B	第3次海津市男女共同参画プランを平成29 年3月に策定した。	新たに第3次海津市男女共同参画プランに 基づき事業の実施していきたい。	B	継続
	単位:千円 H28決算 194	市民活動推進課					

V プラン推進のための体制づくり

V-(1) 施策推進体制の整備

V-(1)②市職場における男女共同参画の推進

No.	具体的施策	事務事業名	前回進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28進捗	第3次プラン
80	市職員に対する研修の実施 ・市職員の男女共同参画に関する研修を行います。	男女共同参画啓発事業	A	男女共同参画プロジェクト委員会において、プロジェクト委員に対して研修を実施した。(講師: 度会さち子氏) また、男女共同参画推進フォーラムを職員研修と位置づけて実施及びe-ラーニングシステムを使用して職員研修を実施した。	システム上での研修は、休憩時間などに手軽に研修を受けることができることから継続していく。また、プロジェクト委員会で委員に対し市職員として知っておくべき男女共同参画という内容で講義を行うことで意識啓発につながっている。	A	継続
	単位: 千円 H28決算	市民活動推進課					
81	市職員への情報提供 ・市職員の男女共同参画に関する正しい理解と知識向上のため情報をメール等により配信します。	男女共同参画啓発事業	C	年間を通じて、男女共同参画ニュースの配信が出来なかった。	男女共同参画ニュースの配信の内容や方法等の見直しが出来なかった為、来年度に見直しを行い提供できるようにする。	C	拡充
							希望する市民、男女共同参画推進審議会委員にも配信を検討する。
	単位: 千円 H28決算	市民活動推進課					
82	男女平等の職場づくり ・職場における慣習、慣行を見直し、男女平等を実現します。	男女共同参画啓発事業	C	年間を通じて、男女共同参画ニュースの配信が出来なかった。	男女共同参画ニュースの配信の内容や方法等の見直しが出来なかった為、来年度に見直しを行い提供できるようにする。	C	掲載しない
							見直さなければいけない職場の慣習等近年報告がなく、職員の意識啓発ならばNo.81と類似している為。
	単位: 千円 H28決算	市民活動推進課					
83	市男性職員の育児休業等の取得推進 ・市男性職員の育児休業等の取得に向けて、育児休業制度等の周知を図ります。	総務管理事務事業	B	育児休業取得者 0人	男性の育児休業取得は、固定的概念などから相変わらず困難を極めている。 扶養手当の申請情報をもとに、取得の呼びかけを行っているが、取得者はいない状況である。引き続きトライしていく。	B	継続
	単位: 千円 H28決算	秘書広報課					
84	女性職員の管理職等への登用の推進 ・女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション(積極的改善措置)を実施します。	人事・給与等管理事務 職員研修事業	B	女性リーダー養成研修(課長補佐及び係長対象)	H29年4月現在の女性管理職比率は11.5%であり、まだまだ多いとは言えない状況であるが、引き続き職員研修を実施し、少しでも多くの女性職員に管理職を目指してもらう。	B	継続
	単位: 千円 H28決算	秘書広報課					
85	特定事業主行動計画の推進 ・特定事業主行動計画について周知・啓発活動を行います。	総務管理事務事業	B	毎週水曜日の定時退庁及び年次有給休暇取得の推進	定時退庁は、部署や時期によっては困難だが、引き続きインフォメーションで周知して毎週水曜日の一斉退庁を目指す。年次有給休暇も、職員周知を実施し、さらに取得率の向上をはかっていく。	B	継続
	単位: 千円 H28決算	秘書広報課					

V プラン推進のための体制づくり

V-(2)市民・市(行政)・事業所の連携

V-(1)①プランに基づく行動の促進

No.	具体的施策	事務事業名	前回 進捗	平成28年度実績	事業に関する評価・課題等	H28 進捗	第3次プラン
86	情報の収集・発信 ・男女共同参画社会の実現に関する情報の 収集や研究等を行い、その成果を市民に情 報提供していきます。	男女共同参画啓発事業	B	県や内閣府から送付されるポスターやチラシ を配架し、啓発することは出来た。	チラシを配架するだけでは市役所に足を運 んでももらわないと情報を手に入れることが出 来ないので、HPなどでも連携して提供してい くとよいと思う。	B	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					研究は難しいと思うので、 ワーク・ライフ・バランスな ど男女共同参画に関する 情報をHPなどで分かりや すく解説するなどする。
87	市民団体やボランティアと連携した事業 の実施 ・市民の自主的な活動と連携した事業を行っ ていくことにより、男女共同参画意識の啓発 を行います。	NPO活動推進事業	B	市の主催する講座等に、ファシリテーターとし て、コミュニティー診断士を活用した。	ファシリテーターに男女のコミュニティー診断 士を活用することで、市の主導する講座等に 女性が参加しやすくなってきた。	B	継続
	単位:千円 H28決算	市民活動推進課					